令和7年度 練馬区立開進第二中学校「学校経営計画」

目指す学校像	① 生徒の笑顔にあふれ、明日も登校したくなる学校 ③ 地域とともに歩み、協力を得られる学校	② 保護者にとって、安心して子供を登校させることのできる学校 ④ 「チーム」として、迅速に課題を解決する学校
--------	--	---

教育目標	「自立」 よく考える人になろう	「勤 労」 すすんで働く人になろう	「協 調」 ともにたすけあう人になろう
目指す生徒像	授業に集中して取り組み、仲間と協働して主体的に学び続けている生徒	夢や目標の実現に向け自ら行動し、自己肯定感を高めている生徒	自他を大切にし、率先垂範で自ら行動している生徒
中期経営目標	<p><第1学年> 姿勢を整え、集中して授業に取り組む。</p> <p><第2学年> 自ら課題を発見し解決に向けて考える。</p> <p><第3学年> 仲間と協働して課題を解決している。</p>	<p><第1学年> 数か月後の具体的な姿を描き行動できる。</p> <p><第2学年> 数年後の具体的な姿を描き行動できる。</p> <p><第3学年> 数年後の具体的な姿を描き行動し改善できる。</p>	<p><第1学年> 率先垂範で自らあいさつする。</p> <p><第2学年> 率先垂範で自ら仲間に声かけする。</p> <p><第3学年> 率先垂範で自ら全ての人に声かけする。</p>
主な具体的方策	<p>① 校長による授業観察の充実を図り、各教科で、授業のねらい、内容に応じて発問を工夫し、話し合いの意図(拡散・収束・調整)を明確にしてタブレット等を活用する。</p> <p>② 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等との関連性を意識して、<u>学ぶことと夢や未来を繋げる授業づくり</u>を行う。</p> <p>③ 各教科で、<u>単元を通して反転学習を行う内容を明確にし、家庭学習と結び付ける。</u></p> <p>④ 適正な評価・評定を行うために、評価する際の評価資料や評価方法等の精度を高め、<u>保護者への事前説明を充分に行う。</u></p>	<p>① 教科等の学習と特別活動や職場体験などを関連付け、体験活動等の意義を明確にして、<u>自分は人のために役立っているという気持ち</u>を高める。</p> <p>② 生徒の思いや願いを受け止め、「共感・感謝・敬意」の心を大切にして帰属意識を高める。</p> <p>③ 生徒会活動、委員会活動、部活動の実体験を通して、<u>集団の中で自己実現を実感する。</u></p> <p>④ 保健体育や体育的な行事で実体験したことを通して健康や体力の必要性を実感し、<u>自分に適したスポーツライフの実現を図る。</u></p> <p>⑤ 学校生活を通して、「生活・交通・災害」等に対する当事者意識を高め、<u>危険予知能力や危険回避能力の必要性を理解する。</u></p>	<p>① 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等と人権教育の課題を関連付けた単元計画を作成し、<u>3年間継続して人権教育を行う。</u></p> <p>② 「自己肯定感を高め、多様性を認め合う生徒の育成」という東京都の人権尊重教育推進校の研究を通して、<u>生徒、教職員一人一人の人権感覚や人権意識を高める。</u></p> <p>③ いじめや不登校の未然防止、早期対応に向け、全教職員による見守活動や定期研修を実施し、生徒たちの「居場所づくり」と「きずなづくり」につながる双方向の関係性を築く。</p> <p>④ 関係諸機関と連携を図りながら、生徒や保護者が「いつでも・どこでも・誰とでも」相談できるような学校内の雰囲気醸成する。</p>